第 500 回情報化研究会開催記念集会報告

この日は会員と入会希望者でのオンライン集会としたが、参加者は会員 4 名のみでした。

最初に情報化研究会の歴史として、技術士会最初のプロジェクトチーム設立が 1968/10 理事会で承認されて第一回を 1968/11/29 に開催していること、1990/5 技術士臨時特集号の「情報化研究会の実績と展望」(市川英彦 記) と 1993/10 に創立 25 周年を迎えて「情報化研究会の創始者を囲む座談会」の記事の要点を紹介しました。初代木村会長が Tokyo Chapter of IEEE Society on SIT の会長で共催になって毎月開催したこと、近年その活動がなくなり単独開催になり、コロナ禍以降オンライン開催なっていること等を紹介しました。

他の話題として温暖化対策の課題を説明しました。「地球温暖化対策の推進に関する法律」により、国、地方公共団体、事業者及び国民は対策を進めることになっていて、八王子市の例では、市に「地球温暖化対策地域推進計画」(2023～2030)があり、外郭団体の「クールセンター八王子」(職員 3 名)が設置されていて、「温暖化防止活動推進員」(ボランティア 10 数名)が配置されているが、市民の意識への浸透が見られない。強制力がなく、市民の自主的動きを待っている状態では手遅れになってしまう、との説明者の見解にコメントを求めたが、1 名から世界的にもそろってなく人類は滅亡にむかっていると非常に悲観的な見解が示されました。他の参加者の見解は示されず、大方の意見交換までに至らなかった。

オンライン会合の録画は Skype のチャットに 1 ケ月保存されています。